

事業計画書

現在の地域課題に対する本事業での実施内容	産前産後の母親や育児中の母親及び父親が経験する、人間の基本的欲求が満たされない中で命を育てるという不安で大変な日常を過ごしている、という育児の大変な現実がある。その結果起きているのが、「産後うつ」や「虐待」「自殺」、「親の孤独・孤立感」である。主に室内での支援をしている公的な育児支援の場に行きづらい親子は、支援の対象から外れることも多い。本事業は、公園のような自然の中で親子の居場所や育児の情報交換や交流の場を必要としている親子の声に答えるため、主な活動の場を佐久市内の公園とし、佐久市の素晴らしい自然環境の中で、子どもは五感をフルに活用しながら遊び、大人も楽しくゆったりと過ごしながら人との繋がりを広め、また情報をえる機会となる、そんな場と時間の過ごし方を提供することを目的とする。
対象となる人・範囲	妊娠中の親及び出産後の親とその子を主な対象者とする。
事業の効果、達成目標 (達成目標はできる限り数値で示すこと)	<ul style="list-style-type: none"> ○安心安全な場であり続ける。 ○コロナ禍で出産または妊娠された方への参加を図っていく。昨年度から来ている方以外の参加を増やす。 ○今年度青空カフェ時間にアトリエ活動を新しくスタートさせ、「私」を主語に自分の趣味やできることをシェアしあったり、子どもと共に創作活動をする中で共感しあったり、そこで生まれる偶発的な結果を楽しむ時間をもつことで、共に育ち合う場となることで佐久地域で暮らす人々の暮らしが少しでもより良いものになるようにしていく。 ○達成目標としては、年間延べ80名程度を目標としたい。
詳細 (活動内容・方法・スケジュール等をできるだけ詳しく、別添資料のある場合はその旨を記載する)	<p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ●対象: 主として未就園児及びその親、妊婦、不登校児及びその親、シニアの方も。 ●実施時期: カフェ月1回平日開催(本年度、コロナ感染拡大時にはオンラインコミュニティを開催予定) ●場所: 佐久市内の公園や森等の屋外を主とする (雨天時や冬季は、公民館等の室内も併用して開催予定) ●規模: 1回あたり未就園児を主とする親子10組、大人単身参加10人程度 ●告知方法: 紙ごみを出さないために告知はSNSをメインとし、すでに知っている方からの口コミやシェアにより広めていただく。一方で、幅広く周知するために子育て中の方と関わりがある場にポスターを掲示予定。 ●運営方法: <参加者との約束>(団体として大事にしていること) 誰のことも、どんな考えも、どんな思いも、どんな遊びも否定しない 「すみません」ではなく、「ありがとう」でつながる 苦しい、大変なときは誰かに伝える、頼ってみる、我慢や無理をしない 楽しい！好き！やりたい！気持ちを大事にする ゴミを極力出さない、増やさない <p>その他別添参照</p>
重点テーマに該当する理由	自然の中で親子の居場所や育児の情報交換や交流の場をつくることを目的とした活動のため
翌年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な親子の安心安全な居場所づくり及び交流推進 安心の確保: どんな意見・考え・遊び・あり方も否定しない 安全の確保: 事前に開催場所の下見を行い、危険なもの・場がないか確認 地域内での顔の分かる繋がりを広める ・講演会、座談会、アトリエ広場、マルシェの企画

—青空カフェ事業詳細—(別添資料)

<「公益性」の視点>

・多世代交流の場

母親や未就園児に限らず、不登校児、父親、シニアの方の参加もOKとし、子どもという存在を通して大人が元気になる場となる。

・育児中の母親の社会参画

佐久市内で活躍されている様々な働き方をしている人と知り合うことを通して

情報交換ができることで、働き方の選択肢が広がり、自分が働きたい働き方を考えることができ社会参画意識が高まる

・育児中は親の基本的欲求を満たされない生活が続き「産後うつ」「自殺」「児童虐待」「お母さんの孤立化」につながってしまうという事実がある中で、昨年からのコロナの流行により、よりそれらの問題の深刻化が懸念されている。本事業は、それらの課題へ少しでも助けになり得る活動である。

<発想の豊かさや創意工夫の視点>

・佐久市内の多数の公園で実施することで地域の魅力発見へ

行ったことがない、知らなかった公園や場に行きかけとなり、佐久市の新たな魅力発見に繋がる

・佐久市の自然環境を学ぶ機会に

公園等屋外で事業を実施することで、目・耳・鼻・肌で自然を感じ、知ることができ、子どもがそれを幼いころに経験することで、自然を大切にする気持ちを育むことができる。また、大人も佐久の自然の中で遊ぶことの楽しみの発見に繋がり、佐久の自然環境に対する新たな気づきの機会となる。

・母親の社会復帰及び自立支援

自分で事業を行なっていきたいと考える方の挑戦の場として使ってOKとしている。ただし、販売金額の設定は利益を求めたものでないものとする。

<「波及効果」や「発展性」の視点>

・様々な母力を集い、その発表の場となるマルシェをする

(お母さんたちが将来やりたいと考えている仕事や夢の実現の一步となる場とする、また子どもたちが企画するお店も出店という形で構想中)

・移住者の移住後の情報交換の場となる

<「自立性」の視点>

●資金の確保

・参加費の徴収

・ワークショップの企画

・寄付金の検討

●人材確保

・主たる活動メンバーは、常に募集。活動条件に、主たる活動者の心身の状況により、いつでも参加者側になることをOKにし、子育て中の母たちだからこそ無理なく続けられるように配慮し取り組む

大人と子どもの青空カフェ

年間事業計画

日付	項目	場所	目標参加人数
4月	青空カフェ	公園（お花見）	10名
5月	青空カフェ	公園（お花見）	10名
6月	青空カフェ	公園（水遊び）	10名
7月	青空カフェ	公園（水遊び）	10名
8月			
9月	青空カフェ	公園（水遊び）	10名
10月	青空カフェ	公園（落ち葉遊び）	10名
11月	青空カフェ	公園（落ち葉遊び）	10名
12月	青空カフェ	室内 アトリエ	10名
1月	青空カフェ	室内 アトリエ	10名
2月	青空カフェ	室内 アトリエ	10名
3月	青空カフェ	室内 アトリエ	10名

分野	テーマ	対象者
公園	季節遊び	親及びその子、その子の祖父母
室内	室内及び外遊びの両方を準備	親及びその子、その子の祖父母
アトリエ	創作活動	やりたい大人と子ども
アトリエ	染め物、縫い物	やりたい大人と子ども
オンライン	オンラインお話し会	コロナ感染拡大により対面開催が難しい場合
オンライン	打ち合わせ	メンバー